南会津教育事務所学校教育課だより

自立と共生

第１４６号

令和６年１０月８日（火）発行

８月２１日（水）、南会津町立田島小学校を会場に、「学級・授業づくりセミナー」を開催しました。域内からは４６名の先生方が参加され、会津自然の家の真壁信也先生と土橋雅子先生による全体会、「一体感のある学級づくりにつながる集団レクリエーション」に続いて、４つの教室に分かれて希望するセミナーを受講しました。

～誰一人取り残さない学級づくりのポイント～　南会津町立田島中学校教諭　星　由起子　先生

星由起子先生からＳＳＲ（ｽﾍﾟｼｬﾙｻﾎﾟｰﾄﾙｰﾑ）の紹介や取組の説明をいただいた後、「席替え」をテーマに実施方法についてグループごとに積極的な話し合いが行われました。参加した先生方からは様々な方法が挙げられ、席替え一つとっても、子供たちにとっては大きな環境の変化となり、何が効果的かは、やってみないと分からないところもあるため、「うまくいかなかったら変えればいい。」を合言葉に、今後の居場所づくりのポイントについて確認し合いました。

～参加者の感想～

- ○　今まで通りではなく、「その子にとってどうか」を大切に、環境を整えていきたいです。
- ○　「どんな環境であれば全員が落ち着いて過ごせるか」を考えることが大切だと分かりました。
- ○　生徒のことをよく知り、生徒に合った環境をつくれるよう努めていきたいです。
- ○　どの生徒でも環境を整えることで安心感が生まれ、学級の一員になれるのだと感じました。
- ○　「情報量を抑える」、「集中できる環境整備」等を踏まえ、学級経営を考えていきたいです。

～子供も先生も楽しみながら学べる科学実験～　南会津町立田島小学校教諭　目黒　了　先生
南会津町立南会津中学校教諭　柴田　亘　先生

科学実験の体験や実演を通して、どの教科にも必要な「やってみたい」「なぜだろう」を引き出す教師のはたらきかけの視点について考えました。

特筆すべきは、先生方の教材研究の奥深さです。どの実験も、子供たちの興味関心を高めるものであることはもちろん、準備しやすい、失敗しにくいなど、多様な視点から実践されたものでした。その情報源は、書籍やインターネット、テレビドラマなど幅広く、日常生活においてアンテナを高く張り教材収集をすることの大切さを感じました。

～参加者の感想～

- ○　ただ教科書の内容を教えるのではなく、自分の目で確かめることの大切さを感じました。
- ○　先生自身がたくさんの準備をされているその姿勢から学ぶことがたくさんありました。
- ○　セミナーで感じた理科の楽しさを、児童にも感じさせたいと思いました。
- ○　「そうなの？」「すごい！」と反応する子供たちの姿が目に浮かぶような実践ばかりでした。
- ○　気象の勉強が命を守ることにつながることを、子供たちに伝えたいと思います。

～実践から学ぶ複式学級の授業づくり～　南会津町立舘岩小学校教諭　星　三和　先生
南会津町立伊南小学校教諭　加藤　正靖　先生

星三和先生からは主に下学年、加藤正靖先生からは主に上学年の学級づくりや授業づくりについて、たくさんの事例を紹介していただきました。「複式指導の正解が分からない」という参加者の声に対して、お二人の先生からは「私たちも、はじめから正解が分かっていたわけではないし、今も何が正解かは分かりません。子供の実態を基に、よりよいスタイルを目指して、たくさん失敗しながら、今も手探りで実践を重ねています。」というお話がありました。

～参加者の感想～

○　子供に「学び方」を意識させることが２学期の自分の課題だと気づくことができました。
○　「次の日を安心して迎えられるように準備する」という言葉にハッとさせられました。
○　お話をうかがって、様々な方法を試して、よりよいものを見付けていきたいと思いました。
○　いろいろな方法を試して、またやり直して・・・を繰り返していきたいです。
○　子供と教師の実態に合った授業というのを試行錯誤しながら見つけていきたいと思います。

～実践から学ぶ授業場面でのＩＣＴ活用～　下郷町立江川小学校教頭　阿久津広恵　先生
南会津町立荒海小学校教諭　星　香奈子　先生

３年間の「『未来の教室』授業充実事業」での取組を踏まえて、児童生徒の学びが深まるＩＣＴの具体的な活用場面について学びました。

阿久津広恵教頭先生からは、「毎週水曜日のらんらんタイムの活用」「指導に系統性を持たせるためのＩＣＴ活用体系表の作成」「情報モラル教育の充実」等、子供の活用技能を高める教育課程の工夫について教えていただきました。星香奈子先生からは、発表意欲を高めるＩＣＴの活用法や、デジタル教科書の有効な使い方等について、実際にタブレットを使って具体的に教えていただきました。

～参加者の感想～

○　ＩＣＴを使う意義について考え、目的をはっきりさせておくことが大切だと感じました。
○　目的に合わせて、紙とＩＣＴを使い分けることが大切だと思いました。
○　研修をふまえ、失敗しても次に生かすつもりで使う頻度を上げていきたいと思います。
○　実際に、班のみなさんと協働してスライドを作成したのが面白かったです。
○　文房具のひとつとして使用させるために、明確な意図をもたなくてはいけないと感じました。

セミナーでは、参加された先生方が互いの実践を紹介し合う姿もたくさん見られました。令和６年度も残り半年となりました。年度末の子供たちの姿を思い描きながら、校内でよい実践を共有し、組織的な学級づくり・授業づくりの継続をお願いします。

福島県教育庁南会津教育事務所　学校教育課
TEL　0241-62-5255　HP　https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70510a/